

川崎医科大学附属病院で2010年4月1日～2014年3月31日の間に、
川崎医科大学総合医療センターで2014年4月1日～2018年9月30日の間に
上部消化管内視鏡検査を受けられた患者さんへのお知らせ

課題名：「胃炎の京都分類」からみた *H. pylori* 感染胃炎の内視鏡的所見と組織的所見との
比較 へのご協力へのお願い

研究責任者

川崎医科大学 健康管理学 教授 鎌田 智有

研究分担者

川崎医科大学 健康管理学 教授 高尾俊弘

川崎医科大学 健康管理学 大学院生 角 直樹

川崎医科大学 総合内科学2 教授 河本博文

川崎医科大学 総合内科学2 特任教授 春間 賢

川崎医科大学 総合内科学2 講師 末廣満彦

川崎医科大学 検査診断学（内視鏡・超音波） 教授 眞部紀明

川崎医科大学 消化管内科学 教授 塩谷昭子

川崎医科大学 病理学1 准教授 秋山 隆

当教室では、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て2010年4月1日～2014年3月31日の間に川崎医科大学附属病院、2014年4月1日～2018年9月30日の間に川崎医科大学総合医療センターで上部消化管内視鏡検査を受けられた患者さんの診療録と生検組織を用いて、内視鏡所見による組織学的胃炎の診断能を検討するための後方視的調査研究を実施します。

現在本邦では内視鏡検査所見からヘリコバクター・ピロリ感染の動態を診断できる「胃炎の京都分類」が内視鏡診療に応用されてきていますが、本研究は「胃炎の京都分類」に準じた内視鏡所見から、組織学的胃炎、特に、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎の診断能を検討することを目的としています。

研究期間は、2018年11月26日～西暦2023年3月31日の予定です。

治療介入を伴わない既存資料（年齢、性別、疾患、検査内容）及び既存検体の生検組織のみを用いた後方視的研究であるため、新たに人体試料は採取しません。個人が直接同定されうる情報は匿名化を行った後に解析されますので、個人情報外部に漏れることはありません。研究結果は学会や学術雑誌等で発表いたします。

この研究に使用した情報は、論文等の発表から5年間保管し、その後は適切に廃棄いたします。

この研究課題は、研究資金を用いない研究です。本研究に関する利益相反の有無および内容について倫理相反委員会に申告し、適切に管理されています。

研究への参加を希望されない方につきましては研究対象としません。下記までご一報下さいますようお願い致します。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、患者さんに新たな費用負担及び謝礼はございません。この研究にご質問等がありましたら下記連絡先までお問い合わせください。ご希望であれば、他の研究対象者の個人情報及び知的研究財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。

【この研究に関する問い合わせ先】

研究分担者：川崎医科大学 健康管理学 大学院生 角 直樹

〒701-0192 岡山県倉敷市松島 577

電話：086-462-1111（内線 85328）FAX：086-462-7897

E-mail：n.sumi@med.kawasaki-m.ac.jp